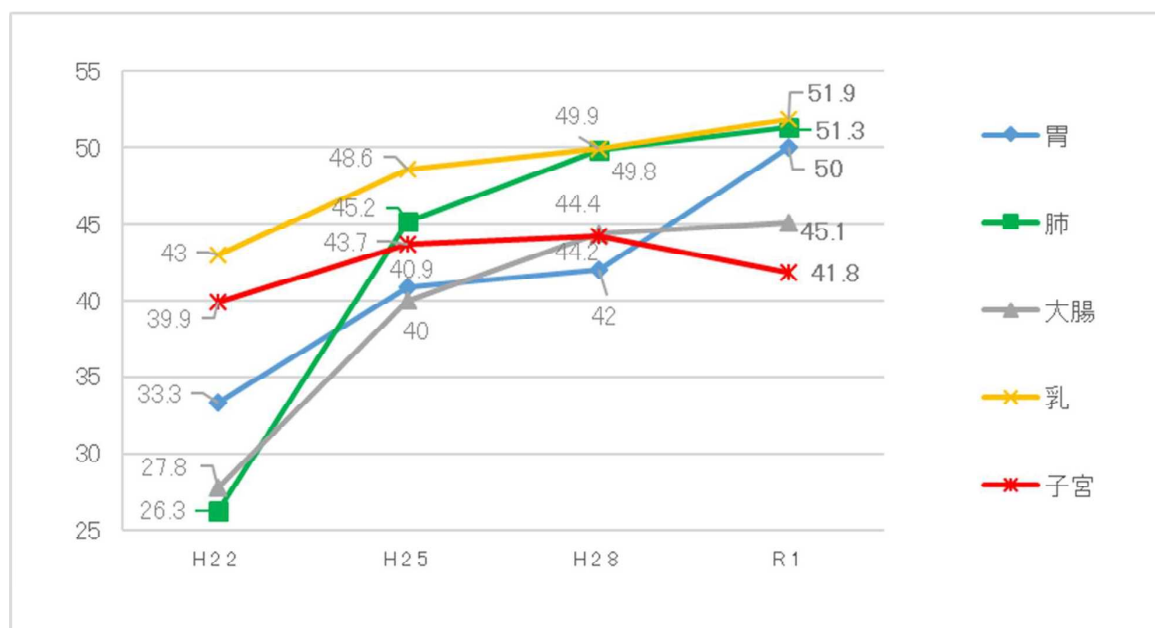


# 第3期千葉県がん対策推進計画 の中間評価について(予防・早期発見) (平成30年度～令和5年度)

千葉県健康福祉部健康づくり支援課

1

## 千葉県のがん検診受診率



出典：国民生活基礎調査（厚生労働省）

2

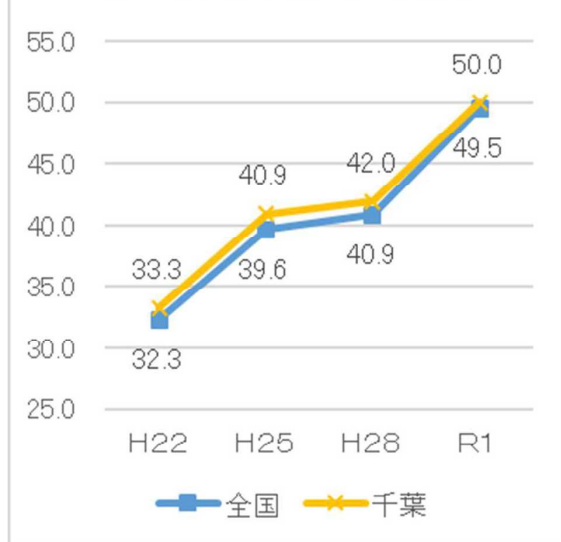
# 千葉県のがん検診受診率（部位別全国比較）

胃がん検診受診率（過去1～2年間・40～69歳）

		H22 (過去 1年間)	H25 (過去 1年間)	H28 (過去 1年間)	R1 (過去 1年間) (過去 2年間)	
全国	総数	32.3	39.6	40.9	42.4	48.8
	男	36.6	45.8	46.4	48.0	53.4
	女	28.3	33.8	35.6	37.1	44.4
千葉	総数	33.3	40.9	42.0	43.1	48.9
	男	35.6	47.7	47.2	46.6	51.9
	女	31.0	34.2	36.9	39.6	45.9

出典：国民生活基礎調査（厚生労働省）

胃がん検診受診率（総数）



胃がん検診受診率（過去1～2年間・50～69歳）

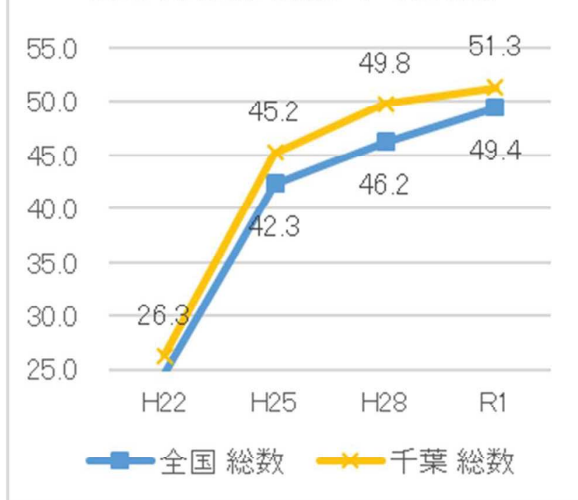
		H22 (過去 1年間)	H25 (過去 1年間)	H28 (過去 1年間)	R1 (過去 1年間) (過去 2年間)	
全国	総数	33.0	40.1	41.7	42.9	49.5
	男	36.7	45.8	47.0	48.4	54.2
	女	29.4	34.8	36.8	37.7	45.1
千葉	総数	33.8	41.8	42.9	44.3	50.0
	男	36.0	48.4	47.4	48.2	54.1
	女	31.6	35.5	38.5	40.6	46.3

3

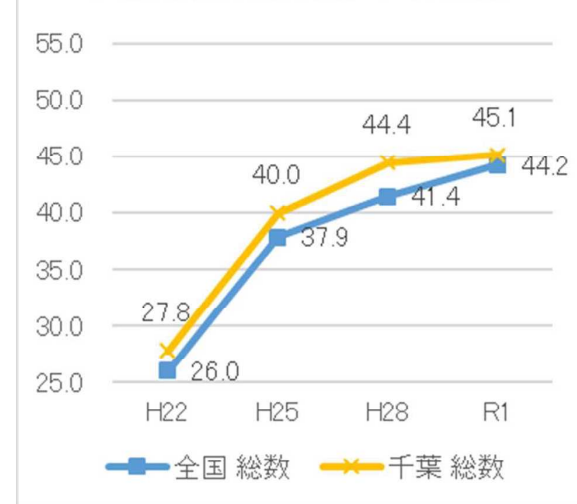
# 千葉県のがん検診受診率（部位別全国比較）

出典：国民生活基礎調査（厚生労働省）

肺がん検診受診率（総数）



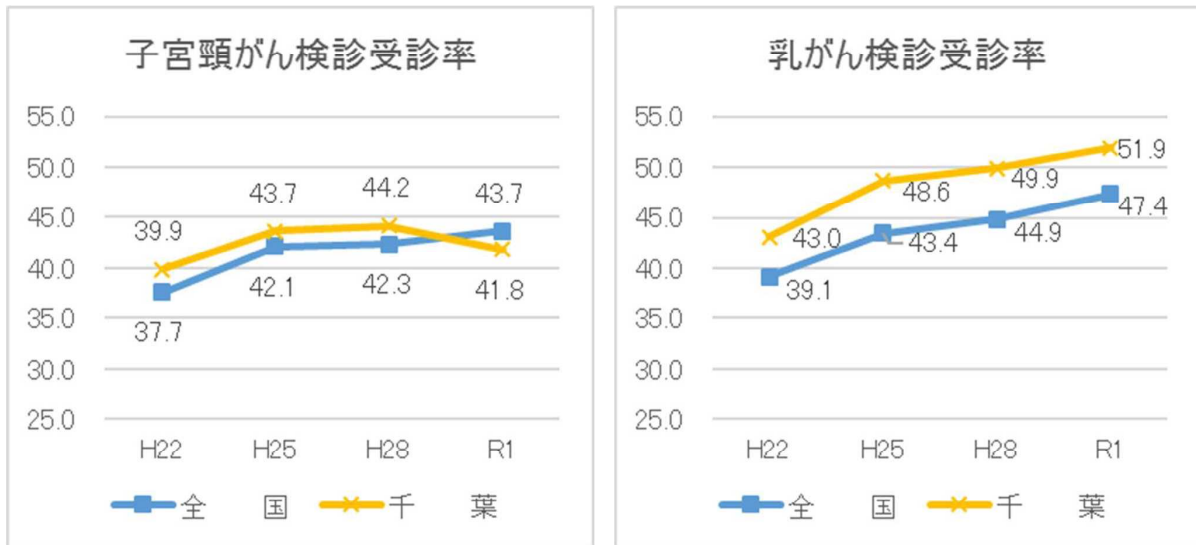
大腸がん検診受診率（総数）



4

## 千葉県のがん検診受診率（部位別全国比較）

出典：国民生活基礎調査（厚生労働省）



5

## 千葉県の高精密検査受診率

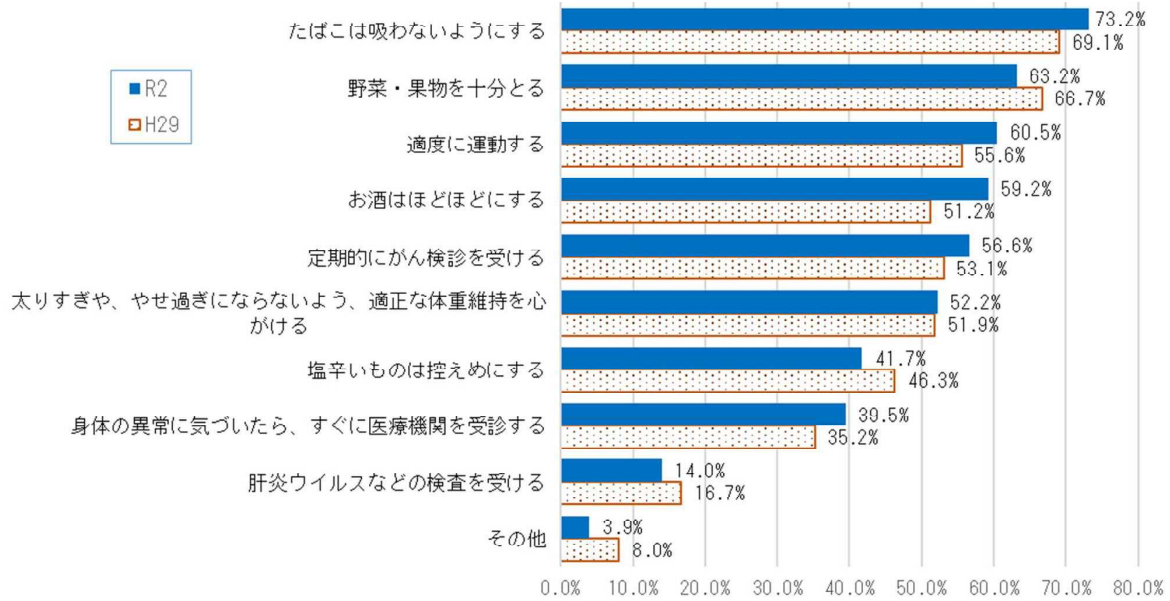
	H26	H27	H28	H29	H30
胃 (X-ray)	82.4%	84.5%	85.3%	84.9%	86.9%
胃 (内視鏡)			98.9%	97.3%	98.3%
肺	78.3%	81.2%	82.4%	81.1%	81.0%
大腸	54.8%	58.9%	66.0%	65.8%	67.4%
乳	88.8%	92.2%	92.2%	91.9%	92.1%
子宮頸	68.2%	73.4%	75.2%	73.7%	77.2%

出典：地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）

6

# 県民のがん予防への意識

問) あなたは、がんを予防するために日頃からどんなことを実践していますか



出典：がん対策に関するインターネットアンケート（千葉県）

## 第3期 千葉県がん対策推進計画の概要

基本理念： ちからを合わせてがんのうち克つちば

全体目標

1 がんによる死亡率を減らしていきます  
(75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の12%減少)

2 がん患者とその家族が、がん向き合いながら、生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる社会を目指します

施策の体系

予防・早期発見

**予防**

- ・たばこ対策の充実
- ・生活習慣等の改善
- ・がんの予防の知識の普及啓発

**早期発見**

- ・がん検診の受診率の向上
- ・がん検診の精度管理等

がんとの共生

**緩和ケアの推進**

- ・がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- ・地域緩和ケアの推進

**相談・情報提供・患者の生活支援**

- ・相談支援の充実
- ・情報提供の充実
- ・就労支援の充実

**がん教育**

- ・がん教育の推進

**子ども・AYA世代に応じたがん対策**

- ・子ども・AYA世代に応じたがん対策の推進
- ・情報提供の充実

医療

**がん医療の充実**

- ・がん診療連携拠点病院等及び千葉県がん診療連携協力病院を中心としたがん医療提供体制の推進
- ・地域医療連携体制の構築
- ・がん医療を担う人材育成
- ・がんゲノム医療の提供体制づくりの検討
- ・ライフステージに応じたがん診療
- ・希少がん、難治性がんの診療の質の向上、情報の提供
- ・口腔ケアに関する医科歯科連携

研究

**がん研究**

- ・基礎研究・橋渡し研究の推進
- ・臨床研究（臨床試験・治験等）の促進
- ・将来のがん予防のための疫学研究の推進

**がん登録**

- ・全国がん登録の運用、情報の活用
- ・院内がん登録の精度向上、分析と公表

# 全体目標

## 【全体目標1】

がんによる死亡率を減らしていきます

<数値目標>平成28年の数値と比較して、今後6年間の目標数値として、  
75歳未満のがんによる年齢調整死亡率の12%減少

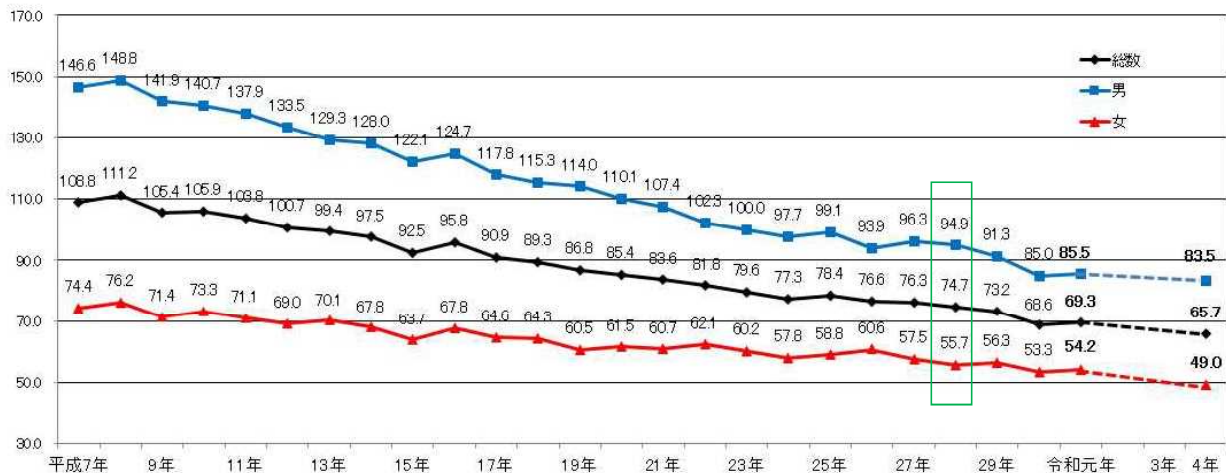
## 【全体目標2】

がん患者とその家族が、がんと向き合いながら、  
生活の質を維持向上させ、安心して暮らせる  
社会を目指します

9

## 【アウトカム】 がんによる死亡率の減少

■75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）



出典：都道府県別死亡データ（国立がん研究センターがん対策情報センター）

75歳未満の年齢調整死亡率は、令和元年とその10年前である平成21年を比較すると、男性20.4%減、女性10.7%減、全体で17.1%減となっている。

## 予防・早期発見の分野における施策の方向性

### (1) 予防

#### ①たばこ対策の充実

##### ○喫煙（受動喫煙を含む）に関する知識の普及啓発

県は、喫煙による健康への影響に関する正しい知識を普及するため、世界禁煙デー及び禁煙週間、がん征圧月間等を中心に、街頭キャンペーンを実施するほか、成人式において新成人に喫煙防止を呼びかけるチラシを配付するなど、さまざまな機会をとらえて啓発活動を実施します。

県

加熱式たばこの健康影響等についても、科学的知見等を踏まえ、普及啓発を図ります。

##### ○喫煙をやめたい人への支援

県は、喫煙をやめたい人がやめられるよう、禁煙外来（ニコチン依存症管理対象医療機関）のある医療機関の情報を提供します。また、喫煙者の身近な方が禁煙のきっかけづくりに携われるように、職場の健康管理や地域で健康づくりに取り組む方を対象とした禁煙支援者研修会の開催や、禁煙支援を行う地域保健従事者のスキルアップを図るなど、適切な支援を行います。

県

##### ○未成年者の喫煙防止

県は、未成年者に喫煙のきっかけを作らせないよう、教育委員会や市町村と協力して喫煙防止教育を推進します。

県

##### ○妊婦の喫煙防止

県は、市町村と協働して、妊婦の喫煙を防止するため、母子健康手帳交付時や両親学級等において、妊娠中の喫煙による合併症のリスクや胎児への影響等について記載したリーフレットを配付し、喫煙防止を図ります。

県

11

## 予防・早期発見の分野における施策の方向性

### (1) 予防

##### ○喫煙（受動喫煙を含む）に関する知識の普及啓発

県は、多数の人が利用する施設が適切な受動喫煙防止対策を講じるよう働きかけます。特に、官公庁、医療機関については禁煙化を推進します。また、禁煙や分煙に取り組んでいる施設がその取組内容を利用者によりわかりやすく伝えるため、入口等に禁煙や分煙の表示をするよう促していきます。

県

さらに、家庭や職場での受動喫煙を防止するため、受動喫煙による健康被害についての正しい知識を普及啓発していきます。

なお、受動喫煙対策について、国の動向を踏まえて適切に対応します。

#### ②生活習慣等の改善

##### ○生活習慣の改善

県は市町村と協力して、すでに実施されている「健康ちば21」の事業とも連動して、がん予防の観点から、生活習慣の改善に取り組めます。

県

特に、がん予防に関連した食生活の改善に関しては、食塩摂取量の減少、野菜・果物摂取量の増加、適切な飲酒量について、食育等を通じた実践的な取組を行っていきます。

##### ○感染症対策

県は、市町村や検診実施機関等の協力のもと、子宮頸がん検診の受診を推進します。また、HPVワクチンについては、県は国の動向を注視しながら情報収集に努めます。

県  
市町村

県は、肝炎患者等を含めた県民の視点に立ち、県民の理解を深め、肝炎患者等を含む関係者の協力の下、関係機関が連携して、肝炎患者等が安心して生活できる環境づくりに取り組めます。

県

12

## 予防・早期発見の分野における施策の方向性

### (1) 予 防

<p>県は、国、市町村、医療関係者等と連携し、肝炎ウイルス検査の受検促進、検査結果が陽性である者のフォローアップや肝炎患者等の早期かつ適切な受診促進等の肝炎総合対策を推進することにより、肝硬変又は肝がんへの移行者の減少に取り組んでまいります。</p>	県
<p>市町村は、妊婦健康診査におけるH T L V - 1抗体検診を継続実施します。 県は、ホームページ等により、H T L V - 1母子感染普及啓発に取り組めます。</p>	県 市町村
<p>胃がんについては、ヘリコバクター・ピロリの除菌の胃がん発症予防における有効性等について、国の動向を踏まえ、対応を検討していきます。</p>	県
<h3>③がんの予防の知識の普及啓発</h3>	
<p>県は、市町村や関係団体等と協力して啓発を行い、対象者に応じたより効果的ながん予防の普及活動を行います。 また、検診実施機関、企業等の協力のもと、乳がん自己触診の普及啓発を行います。</p>	県
<p>希少がんについては、認知度が低く、情報量も少ないため、国や地域の情報を収集し、県民への速やかな提供に努めます。特に、口腔がんについては、県歯科医師会等と連携して、知識の普及啓発に努めます。</p>	県

13

## 予防・早期発見の分野における施策の方向性

### (2) 早期発見

#### ①がん検診の受診率の向上

<p>県は、市町村、検診実施機関、企業、患者団体等と協力して、がんの予防を含め、がん検診の必要性や重要性などがんに関する正しい知識の普及啓発を行います。</p>	県
<p>県は、市町村担当者研修会等を実施し、効果的な検診等の情報交換や、新しい取組等の情報提供に努めます。</p>	県
<p>市町村や検診実施機関においては、受診者に分かりやすくがん検診を説明するなど、受診者が、がん検診の意義及び必要性を適切に理解できるように努めます。</p>	市町村 検診実施 機関
<p>市町村は、総合健診や休日検診の実施等、県民が検診を受診しやすい体制整備に努めます。</p>	市町村
<p>市町村は、受診対象者を正確に把握した上で、個別受診勧奨を行うとともに、未受診者に対する啓発など、効果的で効率的ながん検診を推進します。</p>	市町村

14

## 予防・早期発見の分野における施策の方向性

### (2) 早期発見

#### ②がん検診の精度管理等について

県及び市町村は、がん検診や精密検査の意義、対策型検診と任意型検診の違い、がん検診で必ずしもがんを見つけられるわけではないこと及びがんでなくてもがん検診の結果が陽性となる偽陽性等のがん検診の不利益についても理解を得られるように、普及啓発活動を進めます。	県 市町村
県は、国の指針に示される5つのがんについて、千葉県がん対策審議会予防・早期発見部会の意見を聞きながら、チェックリストの実施状況や、がん検診の受診率・がん発見率等の分析・評価等を行うなど、市町村や検診実施機関における精度管理の向上に向けた取組等を促進します。	県
県は、がん検診に携わる医師、診療放射線技師等の読影研修や撮影技術研修を実施し、検診の精度を高めます。	県
市町村は、国の指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上に取り組めます。	市町村
市町村や検診実施機関は、要精密検査者の精密検査受診率を向上させるよう努めます。	市町村 検診実施 機関

15

## 中間評価における論点

- 計画の個別指標としてのがん検診受診率50%は中間評価までの目標となっており、最終年度までの目標値は中間評価時に検討することとしている。
- 幾つかの部位で目標を達成しているところであるが、COVID-19の影響による検診の人数制限や受診控え等により受診率が低下している傾向を踏まえ、引き続き50%とするのはどうか。
- 「県民健康・栄養調査」がCOVID-19の影響により調査が延期されていることを踏まえ、同調査を出典とする食塩、野菜、果物摂取量に関する目標値はそのまま据え置いた上で、目標年度を調査実施の令和4年度とするのはどうか。

16



## 予防・早期発見の分野における個別目標（案）

指 標		出典	策定時値	現状値	目標値	進捗状況
成人の1日当たりの平均食塩摂取量の減少	男	県民健康・栄養調査 (千葉県)	10.9 g (平成27年度)	—	8.0 g (令和2年度) ↓ <b>(令和4年度)</b>	未評価
	女		9.4 g (平成27年度)	—	7.0 g (令和2年度) ↓ <b>(令和4年度)</b>	
成人の1日当たりの野菜の平均摂取量の増加		県民健康・栄養調査 (千葉県)	308 g (平成27年度)	—	350 g (令和2年度) ↓ <b>(令和4年度)</b>	未評価
果物摂取量100 g未満の者の割合の減少		県民健康・栄養調査 (千葉県)	57.1% (平成27年度)	—	30% (令和2年度) ↓ <b>(令和4年度)</b>	未評価
がん検診の受診率向上	胃	国民生活基礎調査 (厚生労働省)	42.0% (平成28年)	50.0% (令和元年)	50% (令和元年)* ↓ 50% <b>(令和4年)</b>	概ね順調
	肺		49.8% (同上)	51.3% (同上)		
	大腸		44.4% (同上)	45.1% (同上)		
	乳		49.9% (同上)	51.9% (同上)		
	子宮頸		44.2% (同上)	41.8% (同上)		



# 千葉県がん対策推進計画の取組【予防・早期発見】（令和3年9月末時点）

施策の体系			実施主体	取組状況	課題及び今後の取組	目標に対する進捗状況									
大項目	中項目	小項目				項目	計画改定時点	目標 <令和5年度>	現状値	達成状況 (%)					
③ がんの 予防の 知識の 普及啓発	がん	③ がんの 予防の 知識の 普及啓発	県	薬局(ドラッグストア)に乳がん触診模型を配置する等企業との連携も図りながらがん検診に関する普及啓発を実施している。 また、乳がんはしこり(腫瘤)に触れる等の自覚症状を認めることにより発見される場合があることから、地域住民へ乳房自己触診の正しい方法の普及啓発をするため、保健師、看護師、薬剤師等を対象に乳房自己触診(プレストケア)指導者等研修事業を実施している。	引き続き、乳がん触診模型の配置、保健師看護師、薬剤師等を対象とした研修事業を実施する。 令和3年10月1日付でがん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針が改訂され、プレストアウェアネス(乳房を意識する生活習慣)の重要性に関する指導を行うこととされた。これを踏まえ、保健師、看護師薬剤師等がプレストアウェアネスについて正しく理解し、地域住民に普及啓発することができるよう研修内容を検討していく。	がん検診受診率の向上	胃がん 42.0% 肺がん 49.8% 大腸がん 44.4% 乳がん 49.9% 子宮頸がん 44.2% (平成28年)	50% (令和元年) <令和2年度>	胃がん 50.0% 肺がん 51.3% 大腸がん 45.1% 乳がん 51.9% 子宮頸がん 41.8%	概ね順調					
				さらに、希少がんについては、認知度が低く、情報量も少ないため、国や地域の情報を収集し、県民への速やかな提供に努めます。 特に、口腔がんについては、県歯科医師会等と連携して、知識の普及啓発に努めます。	希少がん、口腔がんについて、引き続き情報収集し、必要な情報は速やかに県民に提供する。										
	② 早期 発見	① がん 検診の 受診率 の向上	県	県内スポーツ施設(ジエフ、千葉ロッテ)等と協働して、ピンクリボンキャンペーンを実施している。また、啓発物の配布、掲示及び乳がん触診体験等を通じて広く県民に普及啓発している。 令和2年度及び令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でキャンペーンは中止としたが、例年キャンペーンの実施により普及啓発を図っている。 また、県内の子宮頸がん受診率が全国と比較的低いこと、令和元年の受診率が低下したこと等を踏まえ検診の子宮頸がん検診受診可能年齢となる20歳を対象に成人式でリーフレットを配布している。 薬局(ドラッグストア)においては、乳がん触診模型を配置する等企業との連携も図りながらがん検診に関する普及啓発を実施している。	がん検診を受診するという行動を起こすために「意識(病気の理解)」は重要な要素となる。 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となっているピンクリボンキャンペーンについては感染状況を考慮した上で実施する。 また、成人式でのリーフレット配付及び乳がん触診模型配置等県民に広く普及啓発する機会を引き続き設ける。 がん検診の啓発には県内各市町村の協力が不可欠であるため、県内各市町村に引き続きがん検診の啓発について呼びかけていく。						がん検診受診率の向上	胃がん 42.0% 肺がん 49.8% 大腸がん 44.4% 乳がん 49.9% 子宮頸がん 44.2% (平成28年)	50% (令和元年) <令和2年度>	胃がん 50.0% 肺がん 51.3% 大腸がん 45.1% 乳がん 51.9% 子宮頸がん 41.8%	概ね順調
				県は、市町村、検診実施機関、企業、患者団体等と協力して、がんの予防を含め、がん検診の必要性や重要性などがんに関する正しい知識の普及啓発を行います。	引き続き、市町村等がん検診担当者研修会を開催し、がん検診の基礎知識(受診率向上対策、精度管理について等)及びがん検診に関する市町村実施事業の紹介等を通じてがん検診に関する正しい知識の普及や新しい取組の情報提供に努めている。										
				市町村や検診実施機関においては、受診者に分かりやすくがん検診を説明するなど、受診者が、がん検診の意義及び必要性を適切に理解できるように努めます。	各市町村及び検診機関において、がん検診に関する分かりやすいリーフレットを作成する等ががん検診について説明している。										
				市町村は、総合健診や休日検診の実施等、県民が検診を受診しやすい体制整備に努めます。	平成28年に内閣府が実施したがん対策に関する世論調査にて、がん検診未受診の理由として「受ける時間がないから」が最も多かったことから、各市町村にて、県民ががん検診を受診する機会を増やす必要がある。										
				市町村は、受診対象者を正確に把握した上で、個別受診勧奨を行うとともに、未受診者に対する啓発など、効果的で効率的ながん検診を推進します。	令和2年度市町村におけるがん検診チェックリスト「問1-2 対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか」という項目において、千葉県では肺がん検診(個別検診)を除くすべてのがん検診で実施率が全国における実施率を下回っている。 米国CPSTFによるがん検診受診率向上に関するエビデンスレビューではがん検診受診のきっかけとして、手紙や電話によるコール・リコールが推奨されている。県内各市町村における個別の受診勧奨実施率が全国と比較的低いことについて周知し、実施率向上を促していく。										
				がん検診の精度管理等について	引き続き県にて市町村等がん検診担当者研修会を開催し、がん検診に関する基礎知識について市町村に周知している。 また、市町村医におけるがん検診チェックリスト「問3-1 受診勧奨時に、「検診機関用チェックリスト 1.受診者への説明」が全項目記載された資料を全員に個別配付しましたか」という項目で集団検診では胃がん検診、肺がん検診で個別検診では胃がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診で全国の実施率を上回っている。										
				県は、国の指針に示される5つのがんについて、千葉県がん対策審議会予防・早期発見部会の意見を聞きながら、チェックリストの実施状況や、がん検診の受診率・がん発見率等の分析・評価等を行うなど、市町村や検診実施機関における精度管理の向上に向けた取組を促進します。	がん対策審議会予防・早期発見部会にて県内各市町村及び検診機関のチェックリスト実施状況について検討し、結果の公表及び実施率の低い項目については指導等を実施していく。 また、個別検診機関における精度管理向上のため、個別検診機関における精度管理調査を実施する等個別検診における精度管理向上に取り組む。集団検診と個別検診でがん検診の質にばらつきが生じないように、がん対策審議会予防・早期発見部会で検討、各検診機関に協力を依頼する必要がある。										
				市町村は、国の指針に基づいたがん検診の実施及び精度管理の向上に取り組みます。	がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針に基づかない検診項目、対象年齢、検診間隔でがん検診を実施している市町村が多く存在している。 全国においても83.7%が指針に基づかない検診を実施している。指針に基づかないがん検診について、県内各市町村に周知するとともに、指針に基づかないがん検診の実施について、各市町村に協力を依頼していく。										
市町村や検診実施機関は、要精密検査者の精密検査受診率を向上させるよう努めます。	精密検査未受診者への精密検査受診勧奨実施率は胃がん検診(内視鏡)を除くすべてのがん検診で全国と比較的低い。がん検診のプロセス指標のうち、精密検査受診率は死亡率減少のために最も重要な指標であることを市町村及び検診機関担当者に周知し、精密検査未受診者への受診勧奨について各市町村に協力を依頼する必要がある。														

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【予防・早期発見】

個別目標	1-1 喫煙する者の割合の減少
用いる調査	生活習慣に関するアンケート調査（千葉県）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
男性 25.1% 女性 8.4% (平成27年度)	男性 20.0% 女性 5.0%	令和3年度 (平成33年度)	男性 21.8% 女性 6.1% (令和元年度)	改善傾向

取組状況
<p>1 喫煙に関する知識の普及啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>禁煙週間（5/31～6/6）の一環で、県機関、鉄道会社及び大学等への禁煙週間ポスター配付及びポケットティッシュを各保健所へ配布、また各種広報媒体にて周知</li> <li>がん征圧月間（9月～11月）の一環で、がん予防展にてポケットティッシュを配布</li> <li>新成人向けリーフレットを県内全市町村へ配布</li> <li>COPD（慢性閉塞性肺疾患）のチラシとポケットティッシュを市町村、各保健所へ配布</li> </ul> <p>2 受動喫煙防止の推進として、改正健康増進法の規制内容について、チラシ、ポスター、啓発物、ステッカー等により周知啓発</p> <p>3 禁煙希望者に対する支援として、禁煙支援者研修会の実施や、健康保険による禁煙治療が行える医療機関の情報をホームページで提供</p>

評価	コメント
A	喫煙する者の割合が、目標値まで達成しないものの、計画改定時点の割合から改善傾向にある。

目標達成等に必要な課題
<p>1 令和元年度の調査では、男女とも40歳代で喫煙率が他の年代に比べて高くなっているため、働き世代に対する働きかけとして職場における禁煙対策を推進していく必要がある。</p> <p>2 加熱式たばこの普及に伴い、加熱式たばこの喫煙者が増加している状況から、健康影響等について周知し、喫煙率を下げる必要がある。</p>

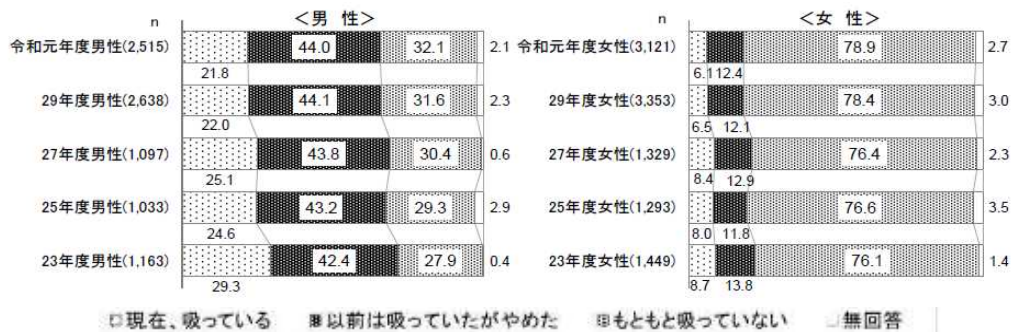
課題を踏まえた具体的な取組
<p>1 職場における禁煙への取組を推進するために、従来の普及啓発に加え、新たな手法や、アプローチの仕方等を今後検討していく。</p> <p>2 加熱式たばこの健康影響について、科学的知見に基づき、各種媒体を活用して普及啓発を図る。</p>

計画最終年度までの目標（案）
引き続き同じ目標値とする。

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

## 調査結果等

図6-1-4 20歳以上の喫煙状況（過去の調査との比較・性別）



※未成年者を除いた20歳以上の喫煙状況を把握する目的で、このページの集計では15～19歳の回答を集計から除外している。したがって、「令和元年度全体」「令和元年度男性」「令和元年度女性」の件数及び構成比は79ページと異なる。

図6-1-2 喫煙状況（性・年齢別）

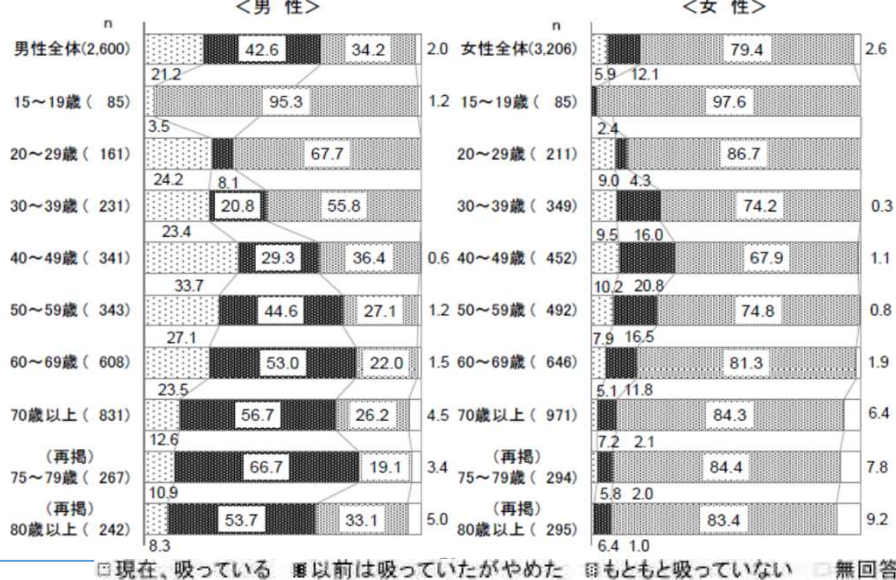
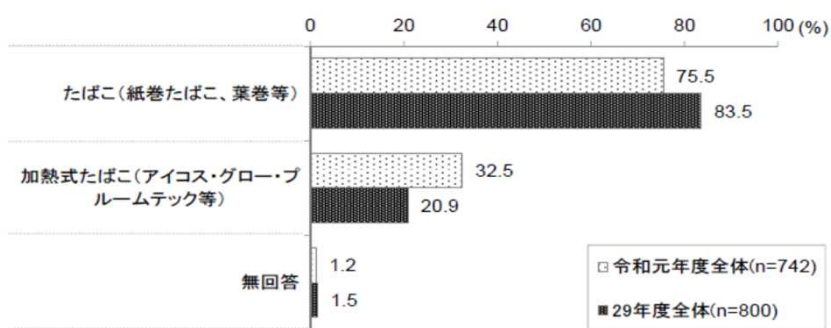


図6-1-10 吸っているたばこの種類（過去の調査との比較）



# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【予防・早期発見】

個別目標	1-2 未成年者の喫煙をなくす（15～19歳）
用いる調査	生活習慣に関するアンケート調査（千葉県）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
0% （平成27年度）	0%	令和3年度 （平成33年度）	男性 3.5% 女性 0% （令和元年度）	男性：悪化傾向 女性：変化なし

取組状況
県内小学校5年生の全児童及びその保護者向けに、たばこの健康影響と受動喫煙の健康影響等の知識を普及するためのリーフレットを配付

評価	コメント
B	データソースとしている生活習慣に関するアンケート調査が平成27年度と令和元年度は調査対象者数が異なるため、単純に比較ができないが、男性が悪化した。 （調査対象者数：H27は6,000人、R1は16,000人）

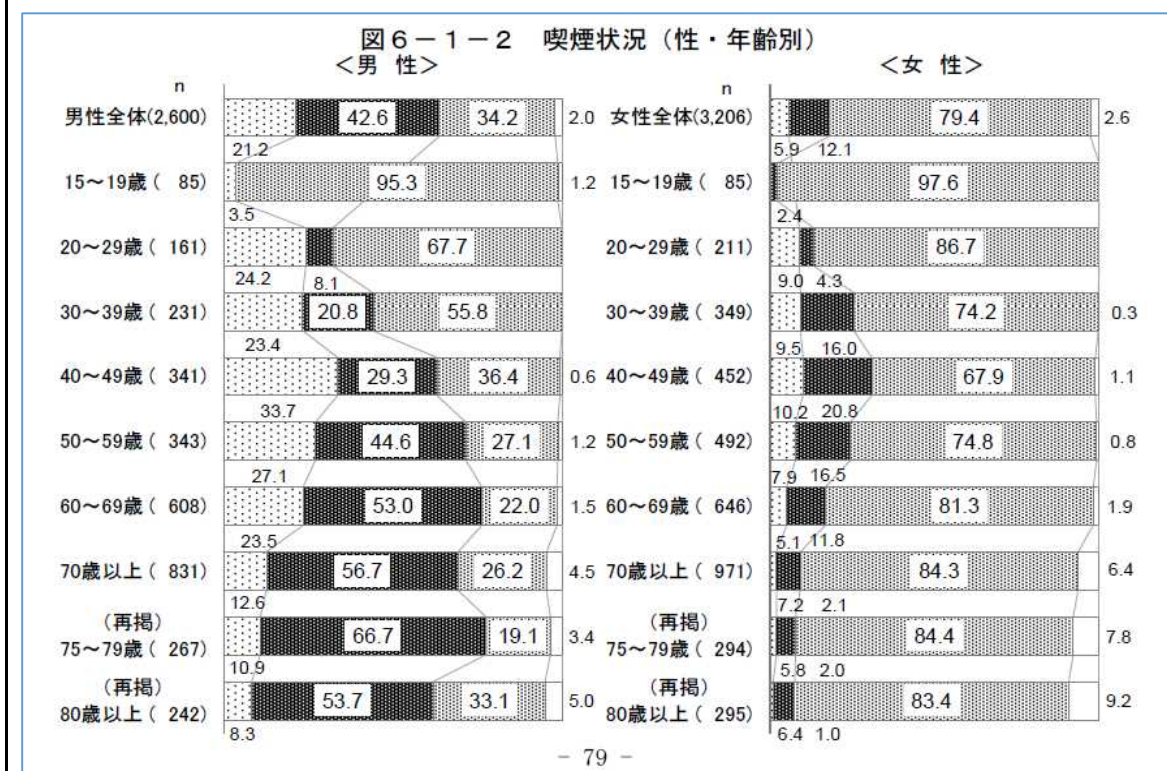
目標達成等に必要な課題
未成年期からの喫煙は、健康への影響が大きく、成人期を通した喫煙の継続につながりやすいことから、喫煙率をなくすことが必要である。

課題を踏まえた具体的な取組
未成年者にたばこの健康影響を知ってもらい、喫煙のきっかけを作らせないように、引き続きリーフレットを作成・配付し普及啓発を図る。

計画最終年度までの目標（案）
引き続き同じ目標値とする。

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

## 調査結果等



# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【予防・早期発見】

個別目標	1-3 妊婦の喫煙をなくす
用いる調査	妊娠届出時の聞き取り（協力できる市町村のみ）調査

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
2.2% （平成28年度）	0%	令和4年度 （平成34年度）	1.5% （令和2年度）	概ね順調

取組状況
市町村と協働して、母子健康手帳交付時や両親学級等において、妊娠中の喫煙による合併症のリスクや胎児への影響の知識を普及するためのリーフレットを配付

評価	コメント
A	妊娠中の喫煙の割合が、目標値まで達成しないものの、計画改定時点の割合から改善傾向にある。

目標達成等に必要な課題
妊娠中の喫煙については、胎児に発達の遅れなど多くの悪影響を及ぼすとともに、自身にも様々な妊娠合併症のリスクを増大させることから、喫煙率をなくすことが必要である。

課題を踏まえた具体的な取組
妊婦に妊娠中の喫煙による健康影響を知ってもらい喫煙防止を推進するため、引き続きリーフレットを作成し、母子健康手帳交付時の機会を捉えて配付し普及啓発を図る。

計画最終年度までの目標（案）
引き続き同じ目標値とする。



# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

調査結果等

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【予防・早期発見】

個別目標	1-4 成人の1日当たりの平均食塩摂取量の減少
用いる調査	県民健康・栄養調査（千葉県）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
男性 10.9g 女性 9.4g (平成27年)	男性 8.0g以下 女性 7.0g以下	令和2年 (平成32年)	調査延期中	未評価

取組状況
<p>1 食育関連のイベント等の開催やリーフレット等の配布 食育関連のイベント等において、がん予防に関連した食生活の改善について普及啓発を実施。またリーフレット等を作成し、商業施設や健康づくり関連の研修会等で配布した。</p> <p>2 食生活改善推進員対象の研修 食生活改善推進員等地域のボランティア対象に、栄養バランスに配慮した食事や、望ましい食生活習慣に関する研修を実施した。</p> <p>3 調理師講習会 給食施設や飲食店等に従事する調理師等を対象に研修を行い、栄養バランスに配慮した食事の提供や、望ましい食生活習慣に関する研修を実施した。</p> <p>4 健康ちば協力店の登録拡大 1食で120g以上の野菜が摂取できるメニューやサービスの提供や、1食で食塩相当量を3.0g未満にできるメニューやサービス等の提供に取り組む健康ちば協力店の登録を推進した。</p> <p>5 特定給食施設指導に対する集団及び個別巡回指導 対象者に応じた適切に栄養管理された食事が提供されるよう、集団及び個別巡回指導により支援を行ってきた。</p>

評価	コメント
	新型コロナウイルス感染症の影響により、県民健康・栄養調査の実施が延期となったため直近の数値が得られていない。

目標達成等に必要課題
H27年度時点の食塩摂取量の平均値は、経年的には減少しつつあるが、女性においては全国平均値よりも高く、最新のナトリウムの食事摂取基準の目標量（食塩相当量：男性7.5g/日未満・女性6.5g/日未満）より約2～3gの減塩が必要である。減塩の取組み課題としては、外食、中食等調理済みの食事を利用する頻度が高い者においては、料理中の食塩を調整することが困難であるため、外食や中食利用時にも減塩に取り組むやすい環境づくりが必要となっている。

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

## 課題を踏まえた具体的な取組

中食や外食を利用する頻度が高い者においても、減塩に配慮した食生活を実践しやすい環境を整備するため、健康ちば協力店の登録推進や、給食施設において食塩に配慮した食事の提供及び減塩に取り組みやすい環境整備が促進されるよう給食施設に対する支援を行う。

## 計画最終年度までの目標（案）

令和4年4月に改正民法が施行され、成年の年齢が18歳に引き下げられることに伴い成人の年齢が変化することから、「成人の」を削除し、1日当たりの平均食塩摂取量の減少（20歳以上）に文言を修正する。

## 調査結果等

- 1 食育関連のイベントや研修会等における減塩の普及啓発に関連するリーフレット等啓発資材の配布実績  
平成30年度 7,027部 令和元年度 5,738部 令和2年度 2,271部 計 15,036部
- 2 食品関連事業者や地域ボランティア団体等を対象とした研修会開催実績  
地域において栄養バランスの良い食生活を普及啓発する者、飲食店や給食施設等食事の提供に関連する者を対象に研修会を実施。  
平成30年度 30回 3,136名 令和元年度29回 2,948名 令和2年度2回 25名 計6,109名
- 3 調理師講習会開催実績  
平成30年度 325名 令和元年度 354名 令和2年度 63名 計742名
- 4 給食施設対象の研修会開催実績  
平成30年度 3,195施設 令和元年度 2,441施設 令和2年度 2,353施設
- 5 健康ちば協力店登録店舗数 32店

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【予防・早期発見】

個別目標	1-5 成人の1日当たりの野菜の平均摂取量の増加
用いる調査	県民健康・栄養調査（千葉県）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
308g (平成27年)	350g	令和2年度 (平成32年)	調査延期中	未評価

取組状況
<p>1 食育関連のイベント等の開催やリーフレット等の配布 食育関連のイベント等において、がん予防に関連した食生活の改善について普及啓発を実施。またリーフレット等を作成し、商業施設や健康づくり関連の研修会等で配布した。</p> <p>2 食生活改善推進員対象の研修 食生活改善推進員等地域のボランティア対象に、栄養バランスに配慮した食事や、望ましい食生活習慣に関する研修を実施した。</p> <p>3 調理師講習会 給食施設や飲食店等に従事する調理師等を対象に研修を行い、栄養バランスに配慮した食事の提供や、望ましい食生活習慣に関する研修を実施した。</p> <p>4 健康ちば協力店の登録拡大 1食で120g以上の野菜が摂取できるメニューやサービスの提供や、1食で食塩相当量を3.0g未満にできるメニューやサービス等の提供に取り組む健康ちば協力店の登録を推進した。</p> <p>5 特定給食施設指導に対する集団及び個別巡回指導 対象者に応じた適切に栄養管理された食事が提供されるよう、集団及び個別巡回指導により支援を行ってきた。</p>

評価	コメント
	新型コロナウイルス感染症の影響により、県民健康・栄養調査の実施が延期となったため直近の数値が得られていない。

目標達成等に必要な課題
H27年度時点の野菜摂取量の平均値は、経年的には増加しつつあり、全国値よりも高くなっているが、目標には達していない。また20～40歳代の野菜摂取量は他世代に比べて少ない。野菜摂取量増加の課題としては、20～30歳代は外食の利用頻度が多い者の割合が高いことから、外食時にも、野菜を豊富に食べられる環境整備が必要となっている。

課題を踏まえた具体的な取組
中食や外食を利用する頻度が高い者においても、野菜を豊富に食べられる環境を整備するため、健康ちば協力店の登録推進や、給食施設において野菜が豊富に含まれる食事の提供及び野菜を豊富に食べることが可能となる環境が促進されるよう支援を行う。

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

## 計画最終年度までの目標（案）

令和4年4月に改正民法が施行され、成年の年齢が18歳に引き下げられることに伴い成人の年齢が変化することから、「成人の」を削除し、1日当たりの野菜の平均摂取量の増加（20歳以上）に文言を修正する。

## 調査結果等

- 1 食育関連のイベントや研修会等における野菜摂取量増加に向けた普及啓発に関連するリーフレット等啓発資材の配布実績  
平成30年度 8,455部 令和元年度 5,700部 令和2年度 1,969部 計 16,124部
- 2 食品関連事業者や地域ボランティア団体等を対象とした研修会開催実績  
地域において栄養バランスの良い食生活を普及啓発する者、飲食店や給食施設等食事の提供に関連する者を対象に研修会を実施。  
平成30年度 30回 3,136名 令和元年度29回 2,948名 令和2年度2回 25名 計6,109名
- 3 調理師講習会開催実績  
平成30年度 325名 令和元年度 354名 令和2年度 63名 計742名
- 4 給食施設対象の研修会開催実績  
平成30年度 3,195施設 令和元年度 2,441施設 令和2年度 2,353施設
- 5 健康ちば協力店登録店舗数 32店

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【予防・早期発見】

個別目標	1-6 果物摂取量100g未満の者の割合の減少
用いる調査	県民健康・栄養調査（千葉県）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
57.1% (平成27年)	30%	令和2年 (平成32年)	調査延期中	未評価

取組状況
<p>1 食育関連のイベント等の開催やリーフレット等の配布 食育関連のイベント等において、がん予防に関連した食生活の改善について普及啓発を実施。またリーフレット等を作成し、商業施設や健康づくり関連の研修会等で配布した。</p> <p>2 食生活改善推進員対象の研修 食生活改善推進員等地域のボランティア対象に、栄養バランスに配慮した食事や、望ましい食生活習慣に関する研修を実施した。</p> <p>3 調理師講習会 給食施設や飲食店等に従事する調理師等を対象に研修を行い、栄養バランスに配慮した食事の提供や、望ましい食生活習慣に関する研修を実施した。</p> <p>4 特定給食施設指導に対する集団及び個別巡回指導 対象者に応じた適切に栄養管理された食事が提供されるよう、集団及び個別巡回指導により支援を行ってきた。</p>

評価	コメント
	新型コロナウイルス感染症の影響により、県民健康・栄養調査の実施が延期となったため直近の数値が得られていない。

目標達成等に必要な課題
H27年度時点の果物摂取量100g未満の者の割合は、経年的には減少しつつあり、全国値よりも低い割合になっているが目標には達していない。全ての世代が目標に達しておらず、20～40歳代においては約8割の者が果物摂取量が100g未満となっている。働く世代を中心に、全ての世代の特徴に応じた果物摂取量増加に向けた取組が必要である。

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

## 課題を踏まえた具体的な取組

ゲー・パー食生活ガイドブック等分かりやすい啓発媒体を活用し、望ましい食生活習慣の普及を推進する中で、各ライフステージに応じた果物摂取量増加に向けた取組を行う。

## 計画最終年度までの目標（案）

引き続き同じ目標値とする。

## 調査結果等

- 1 食育関連のイベント等における果物摂取量増加に向けた普及啓発に関連するリーフレット等啓発資材の配布実績  
平成30年度 566名 令和元年度 918名 令和2年度 970名
- 2 食品関連事業者や地域ボランティア団体等を対象とした研修会開催実績  
地域において栄養バランスの良い食生活を普及啓発する者、飲食店や給食施設等食事の提供に関連する者を対象に研修会を実施。  
平成30年度 30回 3,136名 令和元年度29回 2,948名 令和2年度2回 25名 計6,109名
- 3 調理師講習会開催実績  
平成30年度 325名 令和元年度 354名 令和2年度 63名 計742名
- 4 給食施設対象の研修会開催実績  
平成30年度 3,195施設 令和元年度 2,441施設 令和2年度 2,353施設

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【予防・早期発見】

個別目標	1-7 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者(1日当たりの純アルコール摂取量 男性40g以上、女性20g以上の者)の割合の減少
用いる調査	生活習慣に関するアンケート調査(千葉県)

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
男性 19.6% 女性 26.2% (平成27年度)	男性 18.6% 女性 20.7%	令和3年度 (平成33年度)	男性 20.1% 女性 24.7% (令和元年度)	男性:悪化傾向 女性:概ね順調

取組状況
1 飲酒リスクの知識普及及びアルコール健康障害の発生と予防の普及啓発として、リーフレットを作成し市町村や医療保険者等を通じ県民へ配布 2 関係団体等のメルマガにて企業へ情報発信

評価	コメント
B	女性は計画改定時点の割合から改善傾向にあるが、男性は悪化傾向にある。

目標達成等に必要な課題
過剰な飲酒は生活習慣病やアルコール依存症等の健康障害を起こす可能性が高くなるため、リスクを高める量を飲酒している者の割合を減少させる必要がある。また、女性の割合が依然、高い傾向にあることから女性への普及啓発を推進していく必要がある。

課題を踏まえた具体的な取組
引き続き、節度ある適度な飲酒量等について、県ホームページやメルマガ等の各種媒体により普及啓発を図る。また、特に女性への健康影響について周知を図る。

計画最終年度までの目標(案)
引き続き同じ目標値とする。



# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

## 調査結果等

表 7-2-1 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合(男性)

上段：実数、下段：構成比 (%)

		男性で飲酒する人全体	1合 (180ml) 未満					5合 (900ml) 以上		無回答
			1合 未満	1合以上2合 未満	2合以上3合 未満	3合以上4合 未満	4合以上5合 未満	5合 以上		
男性	男性で飲酒する人全体	1,649	580	567	304	123	35	33	7	
		100.0	35.2	34.4	18.4	7.5	2.1	2.0	0.4	
	毎日	670	166	280	150	51	16	7	0	
		100.0	24.8	41.8	22.4	7.6	2.4	1.0	0.0	
	週 5 ~ 6 日	231	87	80	41	17	2	4	0	
		100.0	37.7	34.6	17.7	7.4	0.9	1.7	0.0	
	週 3 ~ 4 日	235	102	69	38	17	3	3	3	
	100.0	43.4	29.4	16.2	7.2	1.3	1.3	1.3		
週 1 ~ 2 日	244	105	74	34	16	8	7	0		
	100.0	43.0	30.3	13.9	6.6	3.3	2.9	0.0		
月に 1 ~ 3 日	269	120	64	41	22	6	12	4		
	100.0	44.6	23.8	15.2	8.2	2.2	4.5	1.5		

表 7-2-2 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合(女性)

上段：実数、下段：構成比 (%)

		女性で飲酒する人全体	1合 (180ml) 未満					5合 (900ml) 以上		無回答
			1合 未満	1合以上2合 未満	2合以上3合 未満	3合以上4合 未満	4合以上5合 未満	5合 以上		
女性	女性で飲酒する人全体	1,093	572	314	118	47	14	10	18	
		100.0	52.3	28.7	10.8	4.3	1.3	0.9	1.6	
	毎日	222	75	75	38	23	6	4	1	
		100.0	33.8	33.8	17.1	10.4	2.7	1.8	0.5	
	週 5 ~ 6 日	114	57	35	15	5	1	0	1	
		100.0	50.0	30.7	13.2	4.4	0.9	0.0	0.9	
	週 3 ~ 4 日	143	87	41	11	0	0	1	3	
	100.0	60.8	28.7	7.7	0.0	0.0	0.7	2.1		
週 1 ~ 2 日	258	156	67	24	5	1	1	4		
	100.0	60.5	26.0	9.3	1.9	0.4	0.4	1.6		
月に 1 ~ 3 日	356	197	96	30	14	6	4	9		
	100.0	55.3	27.0	8.4	3.9	1.7	1.1	2.5		

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【予防・早期発見】

個別目標	1-8 がん検診の受診率向上
用いる調査	国民生活基礎調査（厚生労働省）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
胃がん 42.0% 肺がん 49.8% 大腸がん 44.4% 乳がん 49.9% 子宮頸がん 44.2% (平成28年)	50%	令和元年	胃がん 50.0% 肺がん 51.3% 大腸がん 45.1% 乳がん 51.9% 子宮頸がん 41.8% (令和元年)	概ね順調

取組状況
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ピンクリボンキャンペーン グッズを作成し、イベント等で配付している。</li> <li>2 成人式でのチラシ配布 令和2年度、令和3年度にがん検診に関するチラシを作成し、県内各市町村に送付。 各市町村で実施される成人式にて配布を依頼した。</li> <li>3 JR主要駅、女子大学でのピンクリボンポスター掲示</li> <li>4 がん検診推進員育成講習会</li> <li>5 市町村健康関係担当者連絡会</li> </ol> <p>がん検診は実施主体である市町村により取組の度合いが異なることから、がん検診担当者を集めて先進的な市町村の取組紹介やがん検診専門家による研修、情報交換を行う。</p>

評価	コメント
B	目標であるがん検診受診率50%は達成できていないものの、子宮頸がんを除くすべてのがん種で受診率が上昇しており、改善傾向である。

目標達成等に必要な課題
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、受診を控えている対象者が存在しているため、受診を控えている方ががん検診受診の重要性を理解し、安心して受診することができるよう、周知する必要がある。</li> <li>2 がん検診受診率向上には個別の受診勧奨が重要であるが、千葉県は対象者全員への個別の受診勧奨実施率が全国と比較し低いいため、各市町村が個別の受診勧奨を実施する必要がある。</li> </ol>

課題を踏まえた具体的な取組
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ピンクリボンキャンペーン等普及啓発活動については、引き続き実施する。また、市町村で実施している啓発活動についても引き続き実施するよう市町村に呼び掛ける。</li> <li>2 市町村健康関係担当者連絡会等で、個別の受診勧奨実施率が全国と比較し低いことについて周知し、実施を促す。</li> </ol>

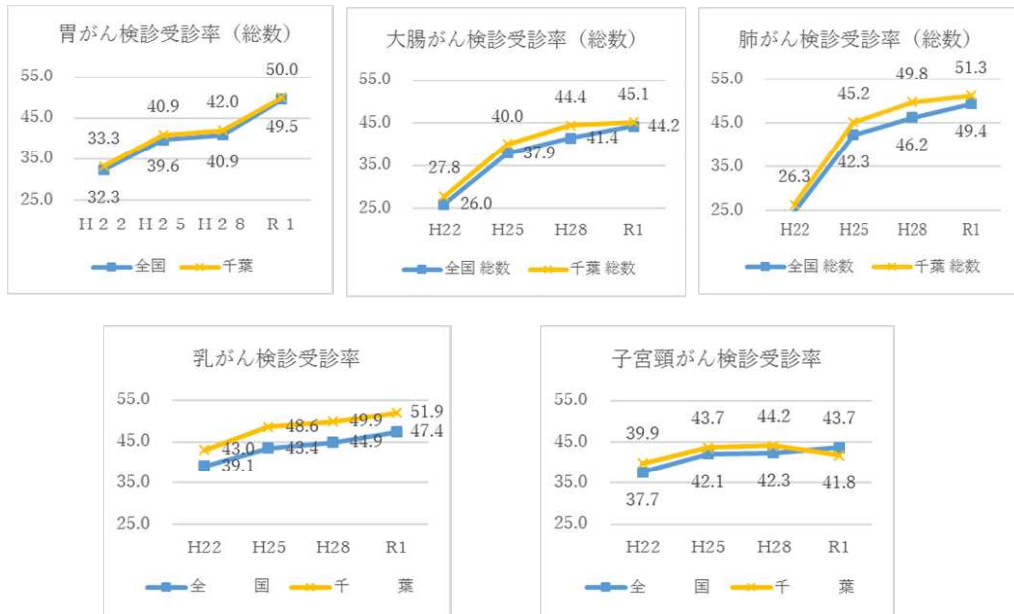
# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

## 計画最終年度までの目標（案）

がん検診受診率は計画策定時点から改善傾向にある。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により、がん検診受診率が低下している。また、受診控え等により今後がんが進行した状態で発見され、治療が遅れることも危惧されている。がんの早期発見にはがん検診が不可欠であるため、引き続きがん検診受診率50%を目標としたい。

## 調査結果等

### 1 がん検診受診率推移



### 1 受診勧奨に関連した市町村チェックリスト項目の実施率 〈集団検診〉

質問番号	質問		胃がん (X線)	胃がん (内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
問1-2	対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか。	全国	44.3	47.5	44.0	43.6	50.7	51.5
		千葉県	25.0	41.7	33.3	43.8	31.7	29.8
問3-1	受診勧奨時に「検診機関用チェックリスト 1. 受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に配布しましたか。	全国	62.6	63.8	61.3	59.2	62.3	62.6
		千葉県	68.8	75.0	75.0	56.3	73.2	74.5

### 〈個別検診〉

質問番号	質問		胃がん (X線)	胃がん (内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
問1-2	対象者全員に個別に受診勧奨を行いましたか。	全国	51.1	52.0	52.2	51.1	53.3	54.1
		千葉県	31.6	-	27.9	28.3	30.8	31.3
問3-1	受診勧奨時に「検診機関用チェックリスト 1. 受診者への説明」が全項目記載された資料を、全員に配布しましたか。	全国	75.8	68.0	75.0	73.4	77.0	77.0
		千葉県	81.6	-	72.1	76.1	76.9	71.9

### 2 ピンクリボンキャンペーン実績

#### (1) ジェフユナイテッド市原・千葉

平成30年度…ピンクリボンバッジ1,500個、クリアファイル700部、自殺対策付箋500部、自殺対策冊子500部、自殺啓発ティッシュ200部、借金リーフレット1,000部

令和元年度…ピンクリボンファイル2,500部、乳がんリーフレット1,100部、自殺啓発ウェットティッシュ300部、自殺啓発冊子50冊

#### (2) 千葉ロッテマリーンズ

平成30年度…ピンクリボンバッジ2,100個、クリアファイル1,000部、自殺対策付箋500部、自殺対策冊子500部

令和元年度…ピンクリボンファイル2,000部、乳がんリーフレット1,500部、自殺啓発ウェットティッシュ250部、自殺啓発冊子250冊

### 3 がん検診推進員育成講習会実績

平成21年度から令和2年度末までの養成者総数は4,710名となっている。

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

【予防・早期発見】

個別目標	1-9 精密検査受診率の向上
用いる調査	地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）

計画改定時点	目標	目標年度	現状値	達成状況
胃がん 82.4% 肺がん 78.3% 大腸がん 54.8% 乳がん 88.8% 子宮頸がん 68.2% (平成26年度)	90%	令和2年度	胃がん 86.9% 肺がん 81.1% 大腸がん 65.8% 乳がん 92.1% 子宮頸がん 77.2% (平成30年度)	概ね順調

取組状況
1 がん検診精度管理指標（チェックリスト、プロセス指標）の集計、フィードバック、ホームページへの公表により各市町村、検診機関の精度管理向上を図っている。 2 がん検診従事者研修会、市町村等がん検診担当者研修会を実施し、がん検診従事者のがん検診精度管理に関する正しい知識の普及に努めている。

評価	コメント
B	目標である精密検査受診率90%は達成できていないものの、全てのがん種で精密検査受診率が改善傾向である。

目標達成等に必要課題
1 精密検査未把握率が許容値外のがん種（胃がん（X線）、大腸がん、肺がん、子宮頸がん検診）の精密検査未把握率の改善が必要である。 2 精密検査未受診者への受診勧奨実施率の改善が必要である。

課題を踏まえた具体的な取組
1 精密検査未把握率減少に向けた取組 (1) 各市町村における精密検査結果回収ルートの見直しを促す。 (2) 精密検査未把握率に関連したチェックリスト項目実施率上昇のため、継続的に結果のフィードバックを行い、ホームページ上に結果を公表する。 2 精密検査未受診者への受診勧奨実施率上昇のための取組 (1) 集計結果のフィードバック、ホームページへの公表を実施する。 (2) 市町村等担当者研修会等で現状の周知、受診勧奨の協力依頼をする。

計画最終年度までの目標（案）
がん検診の一連の流れで、精密検査は重要な役割を担っており、精密検査受診率は高いほど良い。計画策定時と比較し、各がん検診の精密検査受診率は増加している。引き続き、精密検査受診率90%以上を目標とする。

# がん対策推進計画 個別目標中間評価シート

## 調査結果等

### 1 精密検査受診率

項目	目標	計画改定時 (平成26年度)	達成状況 (平成30年度)	達成状況
精密検査受診率の向上	胃がん	82.4%	86.9%	改善傾向
	肺がん	78.3%	81.1%	
	大腸がん	54.8%	65.8%	
	乳がん	88.8%	92.1%	
	子宮頸がん	68.2%	77.2%	
	精密検査受診率 <b>90%</b> (令和2年度)			

### 2 精密検査未受診率・精密検査未把握率

がん種	未受診率 (%) (目標値5%以下)		未把握率 (%) (目標値5%以下)	
	全国	千葉県	全国	千葉県
胃がん (X線)	6.6%	2.6%	11.0%	10.5%
胃がん (内視鏡)	1.5%	0.4%	5.6%	1.3%
肺がん	5.8%	3.3%	10.9%	15.7%
大腸がん	13.6%	6.1%	17.1%	26.4%
乳がん	2.9%	0.8%	7.8%	7.1%
子宮頸がん	6.6%	2.3%	18.6%	20.5%

### 3 精密検査受診勧奨に関連したチェックリスト実施率

#### (1) 集団検診

項目番号	質問		胃がん (X線)	胃がん (内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
問4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか。	全国	84.8%	84.0%	83.9%	84.2%	84.9%	85.4%
		千葉県	65.8%	-	51.2%	52.2%	61.5%	59.4%

#### (2) 個別検診

項目番号	質問		胃がん (X線)	胃がん (内視鏡)	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
問4-6	精密検査未受診者に精密検査の受診勧奨を行いましたか。	全国	72.6%	72.5%	74.4%	70.6%	75.1%	75.9%
		千葉県	62.5%	83.3%	70.8%	56.3%	58.5%	57.4%